

第 49 回例会 (H2511.13) 感想 出席者 52 名 再参加 38 名・初参加 14 名
アンケート回答 44 (回答率 84%) ありがとうございます。

連携と一言で言っても、その難しさを様々な職種の方から伺うことができました。またそこからどこに問題があるのかを少し考えることができました。お互いを知る事の重要性やその糸口を少しつかめた気がします。これからも西部在宅ケア等で顔合わせ、連携というものを考えたいと思います。(ST)

グループディスカッションで各職種の方々がそれぞれの立場での思い、困っていること、印象に残った事などを自由に話され、すごく勉強になりました。ただ、一通り皆さんが話されたあと、自由なディスカッションもしたかったのですが、時間オーバーになってしまったので、もう少し時間を費やしてのグループディスカッションができてよかったのかな、と思いました。(医師)

様々な職種の方と現場で感じていること、困っていること、改善していきたいこと等を話す機会となって良かった。すべての人がプロとして他の職種の人と今後どのように関わっていけば良いかを真剣に考えていることがひしひしと伝わってきました。この力が今後の連携の機動力となると思います。(保健師)

初めて参加させていただきました。正直、次回来させてもらおうとは思いません。皆さん盛り上がっておられるようでしたが、ただそれだけのことで、伝わってきません。毎回これではただの集いですね。次がまったく見えませんでした。(訪問介護員)

今回初めて参加させて頂きました。在宅ケアに関する考えを各々の職種の見方から聞くことができ、大変参考になりました。(社会福祉士)

それぞれの立場での課題をお聴きすることができ、連携する上で、配慮しなければならないなど思うことが多々ありました。今一度原点に立ちかえり、自分の中で啓発しなければと痛感しました。ありがとうございました。(介護支援専門医・介護福祉士・社会福祉士)

多職種、異なる事業所の様々な意見が聞けて良かった。病院として受け入れ、連携等をより推

進する為に頑張りたいと思った。連携がうまくいってない事例については、今後どのように解決していくか考えさせられた。(医師)

“地域連携”“地域包括ケア”“CMって何?”等、たくさんの問いかけがありました。自分自身ケアマネであり、包括支援センター職員なので、その立場について話をする事ができたように思っています。“信頼関係をつくる大切さ”“プロ”としてみられる重圧等実感できました。会に参加し、とても有意義でした。ありがとうございました。(介護支援専門員・介護福祉士)

このような集まりをする事で様々な意見が上がり、意識改革になると思った。今日は、本当の当事者の方の意見を聞いて良かった。ようやく連携が出来ている所で実際には穴があるので、今後はこの穴を埋めていき、より良い在宅ケアが出来たらいいと思えた。(薬剤師)

初めての参加でした。いろいろな方と話できて良かった。今後もぜひ参加したい。特に自宅で介護されている方の今の米子のケアマネの状況を聞いて現状が少しわかり介護者の方にも参加してもらい具体的な意見を今後も聞くべきと思いました。自分の事として受け止め今後の課題ともしていきたいと思いました。(看護師)

連携の難しさを常日頃感じています。顔の見える関係作りがいかに大切か再確認しました。地域で安心して暮らせる町作りを目指し、それに関わる専門職の一人だと感じた今日の例会でした。ありがとうございました。(介護支援専門員・社会福祉士)

連携協力バッジといったシンボルマークを作成し、西部ケア研の主旨を理解できる専門職の方に配布したら目で確認できるのでコミュニケーションが図りやすいと思う。連携の第一歩がスムーズになるのでは。(介護支援専門員)

今回の研修を初めて参加して、多職種の方の意見を聞かせていただきました。私は薬剤師の立場として今まで多職種の現場をあまり知らずにいて今回のことで介護に関して知識が足り

ない、未熟を思い知りました。在宅にかける思いは様々でなく「家で死にたい」という思いは本当にその通りだと思いました。自分に問われた「自分だったら最後にどこで死にたい？」には返答できなかつたです。今後も研修に参加して十分な知識をもって臨みたいです。(薬剤師)

今回ははじめて参加させていただきました。例会一覧表のテーマをみて、時代の流れにそったテーマがとり上げられていると感じました。今日は「みんなで考えよう、新しい多職種連携の集い」というテーマでしたが、病院（大病院）によっては生活者としての患者さんの姿がみえていないのではないかという意見が出ました。大病院等をまきこんだ広域的な連携をとっていけるような対策を考えていくことが大切かと思いました。特に医師の意識の持ち方も大切かと感じましたが、家族、地域住民を巻き込んだ連携も必要となると思います。多職種が連携して、介護保険、医療保険だけではまかなえないことが増えてきますので隙間のない連携が必要だと思います。(看護師)

初めての参加でしたが、地域での医療福祉の連携の必要性、多職種との連携の必要性について多くの方々と同じ思いで集まっている事に心強く思いました。(施設長兼地域連携室長)

皆さんの熱い思いや日頃の思いをととても感じました。いろんな職種の方と出会え、良かったです。この会の歴史知らなかつたので知れて良かったです。(社会福祉士・PSW)

在宅ケア研に集まられている各専門職の方たちは連携の重要さを理解されていると思うが参加してない各現場の状況を具体的にどう変えていくかが大切。個々の意識レベルではなく各組織レベルへの働きかけは出来ないものか？(薬剤師)

多職種の方と話が出来た事が有意義でした。いろんな立場からの意見はSWする者として非常に大切です。今回の会に参加した事をいかして業務に結びつけていきたいと思ひます。(特養SW)

色々な職種の方の思い、問題等意見を聞く事ができた。在宅医療を行ううえで連携を密にする事の大切さを感じた。在宅主治医の考え方で左

右される部分が多い。内容はともかく多職種で話し合う場が必要である。(介護支援専門員)

西部在宅ケア研究会って一体何なの？という問いかけ、じゃあ西部在宅ケア研究会に参加されている方々はどんな想いで参加されているの？と感じました。西部在宅ケア研究会に参加してその成果をそれぞれの職場に返していくことが大切だと感じました。(介護支援専門員・社会福祉士)

普段あまり関わることのなかつた職種の方といろいろなお話ができ今後の仕事をしていくうえでの活力を得ることができました。ぜひまた参加したいです。(介護支援専門員・介護福祉士)

初めてグループディスカッションに参加し色々な職種の方の話を聞け、難しい話もあつたが、よい経験できた。また参加してみたいと感じれた例会であつた。(介護福祉士)

顔見知りになり話せる相手をどんどん作る、地域の力を大きくする、ネットワークを作る為にはそれが一番大切だと感じました。一介護職(ヘルパー)の話をしっかりと医師、CM、保健師、薬剤師の方達が聞いてくれ答えを出してくれるケア研の魅力はここだ！と思ひました。(訪問介護員)

第47回から参加し、3回目になります。今日の高場さんの話を聞くと、この会は多くの人に支えられかつ土台をしっかりと築いてきた安定感のある場だと感じました。薬剤師はもっとできることをアピールしないとイケない。地域の健康応援サポーターとして日々の悩みや病院の薬をはじめ、家族の相談など薬局を窓口にして、そこから他職の方へ輪が広がるのも良いなと思ひました。(薬剤師)

あとは連携のみと思ひます。軽く集まる会であればそれはその会でいいと思ひます。(看護師・介護支援専門員)

初めての参加でグループの皆さんと話し合えた事は学びがありました。この集まりの成果が在宅で療養生活をしている患者さんに届くにはどんな工夫が必要なのかを考えさせられました。(看護師)

もっとテーマをしぼったら良かったのでは？
今回は参加人数が少なく残念です。(介護支援
専門員・介護福祉士)

今回初めて参加した。ケア研の歴史や目的につ
いて詳しく知れて、いいタイミングで参加でき
たと思う。現実では問題がたくさんあり、衝撃
を受けたが、まずは現状を知れたことが第一歩
だと感じた。薬剤師になって間もないが、多職
種の方の意見をこのタイミングで聞いたのは
幸運だった。次回も是非参加したい。(薬剤師)

色々な職種の方々と気楽に話ができてとても
良かったです。(PT)

老建で働いています。在宅では生活できない方
の生活を支えています。施設内の多職種連携で
は看護師がリーダーシップをとっています。在
宅へと退所する為には家族の受け入れが一番
の問題です(利用者さんのレベルよりも)家に
連れて帰ってあげたら、という提案を今はひか
えめに行っていますが、どんどん介入したいと
思っていますが、他職種の分野まで踏み込むこ
とになるのでは等、悩みの種はつきません。
色々とお話してよかったです。(看護師)

薬剤師会の動きがわかって、今後の利用者の支
援に役立てたい。まだまだ情報不足だと思った。
(看護師・介護支援専門員)

様々な職種の方の意見はとても勉強になりま
した。介護を通じていかにその人らしく生き、
そして支えていけるか。そこには多職種の連携
が不可欠です。互いに連携しやすい環境を作っ
ていくことが大切でその為には互いを信頼す
ることと思います。今後もこのような会に参加
していきたいと考えています。(薬剤師)

まだ介護の職について浅いためいろいろな専
門的な意見が直接できてよかったです。機会が
あればまた参加したい。(介護員)

他職種との連携について色々な職種の方の意
見を聞いて良かった。薬剤師の方も訪問に出か
けるといいう意見が聞くことができて良かった。
(PT)

各施設、事業所の最終的な目標の明確化、家族
だけでなく施設内の職員に意識していく必要

がある。デイケアはリハビリを目的としている
と、わかってはいるけど現状は入浴目的であつ
たり、日中ひとりになるので…等デイサービス
と同じような役割となりつつあります。リハビ
リを中心として、動きたい、歩けるようになり
たいと希望する人が、空くの待つという現状
を改善する為にどんなことができるのだろう
と…やはり施設だけでは難しく地域との連携
が重要なのだなと感じました。(?)

医療に関係する会社に属しているの、現場で
働かれている方の生の意見を伺うことが出来
て本当に勉強になりました。飛田先生が仰って
いた「死ぬ場所くらいは選ばせてあげたい」と
いう言葉は重かったです。死や介護は家族と実
際に向き合っているからこそ生まれてくる言
葉なのだと思います。会社員ではありますが、
地域の医療に貢献できるような情報を提供で
きたらと強く思いました。(会社員)

個々の事例を聞くうえで、やはり職種間での情
報交換が重要だと再認識しました。(医師)

初参加で恥ずかしながら無知で初めて聞く話
ばかりでした。現場の生の声が聞けたことが非
常に勉強になりました。(薬剤師)

多職種の連携の必要性をあらためて感じまし
た。(薬剤師)

プロフェッショナルとは何なのか、まだまだやら
ねばならない事がたくさんあります。(PT)

グループディスカッションの中で、いろいろな職
種の方々が専門職として、いろいろな考えを持ち、
いろいろな形で発信しようとしているのだなと
感じました。(PT)

ケア研の目的や多職種の連携について改めて
考えさせられました。シンプルに困った時に相談
できる、話し合えるそんな仲間を増やしてい
くことではないでしょうか。(保健師)

参加者が少ないが今後の絵付けは十分にでき
た。次のステップにつながる。連携は難しいと
いう意見が多くあったが基本的にはどこに、誰
が、どんなふうに生活しておられているのかを
把握して保健・医療・介護・福祉の人がどうい
うアクションを起こしたらよいかははっきり

していないといい連携はむずかしい。場を見せることが大事だと思った。一度、西部ケア研究会として米子市への提言をまとめる作業に入ってもよいのでは。(医師)

今後の展開について。人材育成という観点からも思ったことだが、例会参加者はそこでディスカッションした内容を自分たちの職場や施設にどの様にフィードバックしているか、各職場の取り組みを聞きたかった。(P T)